

中庭の保育園児遊び場に咲くキバナコスモス



浴風会

10月号

令和 2 年 10 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 TEL (代表) 03-3334-2101
<https://www.yokufuukai.or.jp/>
 【編集者】浴風会本部事務局 浅井 敏男
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

これからの新たな10年を見据えて

杉並区保健福祉部長 齊藤 俊朗



今年4月に杉並区保健福祉部長に着任いたしました。これまで、東京都の職員に同行し、平成27年に「老健くぬぎ」、同29年に「ケア24高井戸」の概要等について丁寧の説明いただき、また、施設の持つ歴史の深さとその規模の大きさに驚くばかりでありましたが、保健福祉の職務に関しては、平成19年の子ども分野以来となりますので、どうぞよろしく願います。

着任早々、杉並区でも新型コロナウイルスの感染者が増加し、これへの対応が喫緊の課題となっております。この感染症によって多くの人に知れ渡ることとなったPCR検査について、区でも、この検査を実施できる場所と検査数の拡大に努めております。また、必要時に早期に判定ができるよう検査機器を導入するなど、検査体制の整備も進めております。

今年4月に杉並区保健福祉部長に着任いたしました。これまで、東京都の職員に同行し、平成27年に「老健くぬぎ」、同29年に「ケア24高井戸」の概要等について丁寧の説明いただき、また、施設の持つ歴史の深さとその規模の大きさに驚くばかりでありましたが、保健福祉の職務に関しては、平成19年の子ども分野以来となりますので、どうぞよろしく願います。

さて、区では現在、高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定しております。この中でも認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進を重点としておりますが、現在も浴風会病院・認知症疾患医療センターでは診断、治療や地域連携の推進等について取り組んでいたため、引き続きこの施策推進へのご協力をお願いするところです。

令和3年度が最終年度となります。この将来像の実現に向けた目標の一つに「健康長寿と支えあいのまち」がありますが、この目標達成に向けても、高齢者医療、介護、福祉に総合的に取り組まれ、大きく貢献いただいております。そして、現在、次の10年を見据えた新たな基本構想の策定に向けて、基本構想審議会を設置し、京極理事長にも委員として審議に参加いただいております。更に加速する少子高齢化、また、未だ終息が見えないコロナ禍といった先行きが不透明な中ではありますが、すべての区民に住みよい、また住み続けたいと思えるまちにしたいための基本構想を策定したいと考えております。その実現に大きな力となる浴風会の益々のご発展をお祈り申し上げます。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

退任のご挨拶

前専務理事

江波戸 一敏



9 月末日をもって浴風会を去ることとなりました。6 年有余の間、皆様方には一方ならぬご厚情を賜りました。深く感謝申し上げます。

お酒が入らないカラオケに最初は戸惑ったことを思い出します。日頃接する機会の少ない利用者の話や歌声は、その方をよく知る機会ともなり、誕生会は私の大切な催しの一つでした。

最初の 2 年は、養護老人ホーム浴風園での勤務でした。施設で働いた経験はなく不安も大きかったのですが、職員各位や利用者の皆様のお蔭で毎日が愉快に過ごせました。

養護老人ホームは、運営費の一般財源化や施設目的の変更等の改革により、いわゆる措置控え、支援内容の多岐多様化等の現象を招き、施設運営の困難性が高まっています。困りの高齢者に対して居住支援（住まい）や生活支援を行っていく施設として、今後とも重要性を増していくものと私は思っています。健闘を祈ります。

月に一度の「誕生会」があつて、この時は、当該誕生月の皆様と食事をしながら思い出を語ったり、カラオケを楽しんだりしたのですが、時間が余るときには私にも歌が求められました。そのような時、前任者は出身地に因んで『南国土佐を後にして♪』の繰り返しで乗り切ったそう、それを聞いていた私は、地元（に近い）水郷の『潮来花嫁さん♪』で容赦を願います。

また、改正社会福祉法による社会福祉法人制度改革の時期でもあり、完全週休 2 日制の導入、働き方改革やハラスメント対策の充実に取り組んだことを思い出します。

6 年有余を支えてくださった皆様に重ねて感謝を申し上げます。退任の挨拶といたします。

（浴風会参与）

役員の変更

10 月 1 日付 敬称略

◇退任 専務理事 江波戸一敏（9 月 30 日付）
◇就任 参与 江波戸一敏（前専務理事）

業務執行理事 小河芳弘（本部事務局参事）
（本部事業担当）

役員名簿

10 月 1 日現在 敬称略

・理事長 京極高宣

・業務執行理事 小河芳弘（新任 本部事務局参事）
（本部事業担当）

・業務執行理事 小室清吾（浴風園長）
（老人福祉事業担当）

・業務執行理事 植木雄治（南陽園長）
（介護保険事業担当）

・業務執行理事 遠藤雅晴（地域サービス部長）
（地域サービス事業担当）

・業務執行理事 伊藤嘉憲（浴風会病院長）
（総合センター事業医療・事務担当）

・業務執行理事 山口晴保（東京センター長）
（東京センター事業担当）

・理事 岡本多喜子（明治学院大学名誉教授）
（長寿社会開発センター前理事長）

・理事 河村博江

・理事 小林義明（杉並社会福祉協議会副会長）

・理事 神野直彦（日本社会事業大学学長）

・監事 多久島耕治
（多久島・岩崎法律事務所長）

・監事 矢田宏人
（社会福祉振興・試験センター常務理事）

認知症バリアフリーの時代に ～ 本人の声をもとに、ともにつくる暮らしと地域 ～

認知症介護研究・研修東京センター
副センター長・研究部長 永田 久美子



「こわいんだ。どっちにいったらいいか。いろいろ書いてあるけどわからない。人に聞いてもわからない。くたびれていやるなる」。

これは病院に行くのをためらっていた認知症の人のつぶやきです。その声を耳にした市職員が、本人の受診日に同行し一緒に病院内を歩いてみたそうです。

玄関、受付、廊下、診察室、検査室、トイレ、そして会計など。いたるところで本人の表情や体がこわばり、懸命に探っている様子が見られたとのこと。職員は「元氣な自分が何気なく通っているあちこちに、本人から見ると怖いほどのバリアがいっぱいあることを発見！それらが不安を駆り立て、疲れさせ、やる気さえ削いでしまっていることにハッとさせられた」と語っていました。

その職員は、その時の具体的な記録と気づきを病院職員に伝えて話し合いを重ね、病院側では今、本人と一緒に認知症の人からみたバリアを解消する取組を継続中です。取組を始めてからこの本人は、「会計はこっちか」、「(本人用の説明書きが)うれしい」など、自分でわ

かる・できることが増え、見違えるほど明るく前向きになっているそうです。他の高齢者や若い人からも「わかりやすく、楽になった」と好評だといっています。

これまでは、認知症だからわからなくても仕方がないとみなされがちでしたが、現在、その考え方や支援のあり方の大きな転換期にきています。『認知症の本人からみた障壁(認知症バリア)を取り除き、本人が自分にある力を活かしてできるだけ自分なりにできる(人の世話にならずにすむ)ように』という『認知症バリアフリー』の取組です。

これまでも段差をなくしたり、車いすの人でも届く高さにするなど、主に身体障害のある人のバリアフリーは進んできました。が、認知症バリアフリーは非常に遅れています。認知症バリアが見過ごされているために、本人が不安や混乱を強め、失敗や一人ではできない場面が増え自信や意欲の低下が加速し、本人も支援者も負荷が増してしまう悪循環が繰り返されています。

認知症バリアフリーは、本人

そして支え手や社会にとってもメリットが大きく、国が昨年から進めている認知症施策推進大綱の重点施策の一つに盛り込まれました。医療や福祉機関はもちろん、社会全体で認知症バリアフリーに本格的に取組む時代になったのです。認知症バリアフリーの環境や配慮があるかは、支援や地域のこれからの大事な評価ポイントです。

認知症バリアには、物理的環境面、情報面(わかりにくさ)、意識・文化面(偏見、配慮のなさ)、制度面など様々な側面があります。見方を変えると認知症バリアフリーはやれることが豊富にあるやりがいのある挑戦です。職員だけではなく、本人、地域の人たちが参画して認知症バリアフリーを進める事業者や地域が広がっています。

認知症バリアは見えづらく、身近な本人の(小さな)声の中にこそ手がかりがあります。日々の小さなバリアフリーの積み重ねが、暮らしや地域を変えていく大切な一歩です。

ぜひ一緒に、認知症バリアフリーに取組んでいきましょう。

浴風会の動き (9月)



ケアハウス スペシャルデザート

【本部事務局】

11日 第2回理事会(書面決議) 開催
評議員会開催、執行理事の選定、参与の委嘱について承認

23日 評議員会(書面決議) 開催
理事の選任について承認 (浅井)

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

11日、8日、10日 都立永福学園1年生職場見学。見学者72名。

1日、8日、15日、29日 介護職員初任者研修15期生スクーリング。受講生11名。講師・越智佳子氏、奥村まほろ氏、職員、大澤。

3日、10日、17日、24日 介護福祉士実務者研修12期生、13期生スクーリング。受講生14名。講師・大津陽子氏、職員、猪俣、松上、山崎、高橋。

11日 特別区職員互助組合介護講座「認知症セミナー」講師・新井平伊氏。参加者60名

定期的に開催しております、「よく

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

ふう語ろう会(第2水曜日)と「Cafeオレンジリボンウッド」(第2月曜日、第4金曜日)は、新型コロナウイルスによる感染拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。 (鈴木)



4日 水墨画のクラブ活動実施。感染症に気を付けながら、真剣に取り組みれておりました。お部屋での生活の時間が多くなり、閉じこもり予防の為、浴風園共有スペースを利用して、少人数ですが、毎日スタッフが生掛けし、レクリエーションも続けています。



16日 大ホールにて、賀寿の節目の年齢のご利用者を中心に式典を行い、敬老のお祝いをしました。式典後、一年を振り返りスライドショーを上映しました。また昼食には松茸のお吸い物を含む豪華なお祝い膳を召し上がり、ますますのご健勝を祈念しました。 (徳増)

松風園 (軽費老人ホーム)

18日 敬老の日のお祝いとして、今年初めて白寿をお迎えになられた2名の方、米寿9名の方、喜寿10名の方々に記念品を贈呈し、記念写真を撮りました。昼食時には、園長の祝辞を

添えて、心のこもった手作り松花堂弁当にてご長寿をお祝いしました。コロナ渦の中、式典は執り行われませんでした。お元気にご長寿をお迎えになられました皆様に心から敬愛申し上げます。 (宮中)

浴風会ケアハウス

11日 敬老会。今年度は、催し物は控えて、華やかなお祝膳でお食事会としました。100歳を迎えるご利用者に、ご利用者・職員からのメッセージを添えた色紙、花束を贈らせていただきました。節目の方もそうでない方も、おめでとうございました。 (尾庵)



【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

今年の「南陽園祭り」は、コロナ禍ということもあり、規模を縮小して各階でのお祭り(8月23、28、30日)となりました。皆さん、かき氷や綿あめなどの模擬店、催し物を楽しまれていました。

21日 「敬老会」では、午前各フロアで式典を行いました。南陽園の最高齢は105歳の方です。午後は職員による楽器演奏や歌、よさこいソーラン等の催し物で楽しめました。 (丸山)



南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

23日 「敬老の日」に、日ごろの感謝を込めて、敬老会を開催しました。植木センター長の挨拶からはじまり、お祝い膳を召し上がって頂いた後は、職員から長寿のお祝いの言葉とサプライズで「浜千鳥」の演奏を贈らせていただきました。職員はそれぞれ、大正琴・キーボード・フルート・オカリナなど、時間を見つけては練習してきた成果を発揮して、利用者の皆様にも喜んでいただきました。それぞれに思い出に残る敬老会となりました。 (鶴間)



★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。
◎電話 03-3334-2743

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

21日 敬老祝いをしました。最高年齢の106歳の方を始め、100歳を越えられている方が10名いらっしゃいました。午後は、毎年恒例となっていた阿波踊りはコロナ感染予防のため中止となりましたが、和菓子バイキングと職員の催しものを開催し楽しんでいただきました。

30日 クッキング★カフェを行いました。今月は栄養士実習生がメニューを考え、さつまいももちとカボチャプリンを作りました。 (石渡)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

9月14日より、敬老週間として、喜寿・米寿・卒寿など長寿の節目を迎えられた方々をお祝い致しました。皆様より長寿・健康の秘訣や人生の教訓など、数々のありがたいお言葉を頂戴しました。

猛暑の時期が終わり、徐々に涼しい日が続くようになって参りましたが、皆様お元気にご通所頂いております。

(限本)

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせは随時受け付けています。
◎03-3334-2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

「敬老祝い会」

21日 敬老の日に敬老祝い会を行いました。各フロアに園長が伺い、職員と共にお祝いしました。特に100歳以上の長寿の方々、白寿、卒寿、米寿、傘寿、喜寿の方々には園長よりお祝いの花束と共に感謝の言葉を贈らせていただきました。第三南陽園では100歳以上の方々が11名元気に過ごされています。「健康の秘訣は良く笑うこと、良く食べること」と笑顔で話されていたお姿が印象的でした。

また、フロアごとにきき氷やお菓子作り、運動会や和菓子バイキングなど趣向をこらしたイベントを行い皆様楽しんでいただきました。(佐々木)

グループホームひまわり

8日 敬老祝い会とミニミニ縁日を行いました。

敬老祝い会では、職員によるトランペット演奏で歌を歌い、ご利用者代表方が「体に気を付けて長生きしましょう」とお話しされ乾杯し、松茸ごはんのお祝い膳を召し上がりました。

午後はミニミニ縁日を行い、「かき氷」「綿あめ」「ヨーヨー釣り＆金魚すくい」の3種類の



出店を屋上に開設しました。かき氷と綿あめを召し上がり、童心に帰ってヨーヨー釣りや金魚すくいをされ楽しまれていたご様子で、笑顔溢れる素敵な1日になりました。(谷口)



【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

9月21日は、「世界アルツハイマーデー」で『認知症になっても安心して暮らせる社会を』をスローガンに、様々なイベント等が開催されています。

杉並区でも、2年前から「認知症の普及啓発」として『RUN伴すぎなみ』を開催しており、今年はコロナのため、動画に参加者がアップして繋がりました。

た。

認知症は誰がかかわる身近な問題になってきています。だからこそ、



地域での暮らしを考えていけたらと思います。今年度も「認知症」の正しい知識を得て、地域で暮らすことを考えています。チームとして一緒に活動して下さる方を募集しています。(尾関)

★杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

◎電話 03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院



インフルエンザ予防接種実施中です」10月1日から完全予約制での接種となります。満65歳以上の方には区より「インフルエンザ予防接種予診票」が届きますので、忘れずにお持ちください。ワクチンが無くなり次第終了となりますので、お早目のご予約をお願いいたします。

◎予約電話 浴風会病院

03-3332-6511 (代表)

「インフルエンザの予約」とお伝えください。月曜～金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時となります。(多胡)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

14日 納涼祭・敬老会を2階フロアで開催しました。例年は別々に行っていましたが、新型コロナウイルス感染症

のため、まとめたの実施となりました。かき氷や盆踊り、長寿のお祝いなどにご利用者の皆様も笑顔で楽しんでいました。

14日～19日 3階デイケアでは敬老週間としてマジックショーや長寿に関するクイズなどで楽しみました。マジックショーは職員によるものでしたが、本格的なマジックで、ご利用者も目を丸くして見入っているようでした。

おいしいコーヒーや紅茶を飲んでいただく「コーヒー喫茶」を月に数回ですが始めました。涼しくなってきたこの時期に温かいコーヒーを美味しく飲まれていました。(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
◎03-5336-7701 (代表)
◎03-5336-7734 (入所)
◎03-5336-7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

8日 老健事業委員会【認知症介護力リキユラムあり方調査】(Zoom)

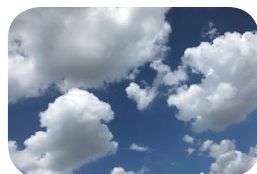
15日 東京センター運営会議 (Zoom)

25日 老健事業委員会【認知症介護力リキユラムあり方調査】(Zoom)

(Zoom)

29日 AMED 研究事業委員会 (Zoom)

(富島)





浴風会病院 患者さんの体・心に負担の少ない検査を ～放射線科の役割～

検査部放射線科 主任 深井 宗

当院の放射線科には、X線撮影室、CT室、X線TV室、骨密度検査室、MRI室、と複数の検査室があります。スタッフは診療放射線技師が5名在籍しており、医師の指示のもと、1日100名ほどの患者様に対し、各装置を用いて検査を行い診断の補助として使用する画像情報を提供しています。

ただ撮影するだけではなく、X線を人体に照射する検査においては低線量・低被ばくに努め、可能な限り苦痛の少ない体位を心掛け、患者様にやさしい、身体的・精神的負担の少ない検査環境を整え、診断や治療に役立ち更に患者様に説明しやすい画像の作成をスタッフ全員で心掛けています。

近年、患者様も医療被ばくに対する意識が高まってきている事を私も感じており、検査を行う際に「一週間前に胸のレントゲン写真を撮っているのですが、今この検査を行っても大丈夫ですか？被ばくは大丈夫ですか？」等の質問を受けることがあります。

確かに、放射線は原爆や原発事故など怖いイメージがありますが、怖いかどうかは被ばくの量で決まり、放射線診療での少ない被ばく量では怖がる必要はありません。特に当院で行われている検査では心配するほどの被ばくはありませんので安心して検査を受けて下さい。

しかしながら少量とはいえ被ばくするわけですから、不安になる気持ちも大変よくわかります。

前提として、医療被ばくによる危険より患者様の利益（病気の状態を知ることができる）が十分に大きいと判断した上で、医師は検査依頼を行います。さらに現場の診療放射線技師はそれぞれの患者様に合わせ、被ばくの軽減に努めています。

医療被ばくを怖がるあまり放射線診療を受けないようなことになっては、適正な診断・治療が出来なくなることもありますので、何かしら不安な事があれば、医師または診療放射線技師にご相談ください。

今後も、みなさんが安心して検査が受けられる環境を目指して行きたいと考えておりますので、宜しくお願いします。



↑筆者

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、浴風会病院及び各施設におきましては面会の一部制限を行っております。また、会内レストラン（第三南陽園、ケアハウス）の一般利用者のご利用を控えさせていただきます。詳しくは各施設へお問い合わせください。



ご芳志

令和2年8月16日から9月15日

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございました。

〈金品・物品〉

川崎 鈴彦様、宮沢 郁子様、三好 勝重様、

東京都社会福祉協議会 東京善意銀行様
●ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

sounu2@yokufukukai.or.jp

<https://www.yokufukukai.or.jp/>